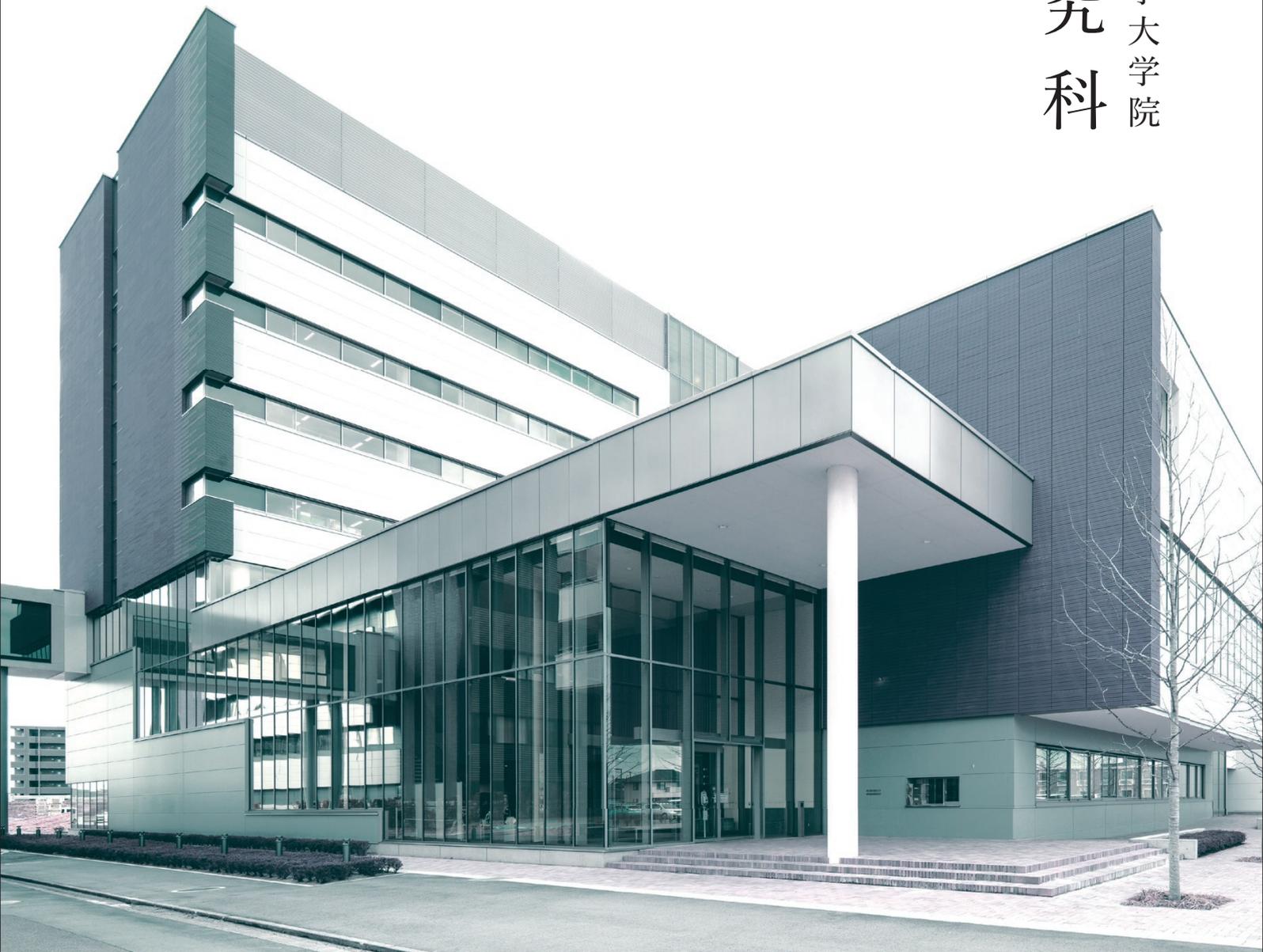


GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

東北医科薬科大学大学院
医学研究科





高度な専門教育・研究によって、
地域医療を担う人材を育成。

「われら真理の扉をひらかむ」

この建学の精神のもと、1939年(昭和14年)に本学は、東北・北海道地域で唯一の薬学教育機関として創立されました。それ以来、附属癌研究所や私立薬科大学初の大学院を開設するなど、先進的な取り組みによって国内の薬学教育・研究を牽引してきました。

2016年(平成28年)には、医学部医学科を開設。「東北地方の地域医療を包括的に支える」という使命を抱き、特色あるカリキュラムによって、地域への理解を深め、幅広い診療や災害医療にも対応できる医師の育成を続けています。

この使命に真摯に向き合い、医療・生命科学の専門家として社会に貢献しうる人材を送り出すため、2023年(令和5年)4月、本学は大学院医学研究科を開設し、新たな一歩を踏み出します。高度な専門教育・研究にいそむのはもちろんのこと、医療のフィールドにとどまらない広い視野を擁し、学びを通し培った知見を地域医療の発展・貢献のために注ぐことを厭わない、志ある学生の集う学府となる…それを実現すべく、本学は進み続けます。

真理を探求する姿勢。自ら課題を見つけ、自ら解決していく意志。
建学の精神を受け継ぎ、地域医療の持続的発展を支える
「知のプロフェッショナル」を医学研究科で輩出していきます。





地域医療の発展に貢献する 「知のプロフェッショナル」へ

少子高齢化が進む地方においては、地域の医療が介護・福祉・保健・行政と連携して住民を総合的にケアする地域包括ケアが必要とされています。しかし、それぞれの職種の専門性や役割を活かすシステムを構築し、質の高い地域医療を持続的に展開するためには、限られた医療資源を効果的に活用し、地域医療をめぐる様々な課題の解決に向けた提言ができる高度な知識と実行力を持った人材が不可欠です。

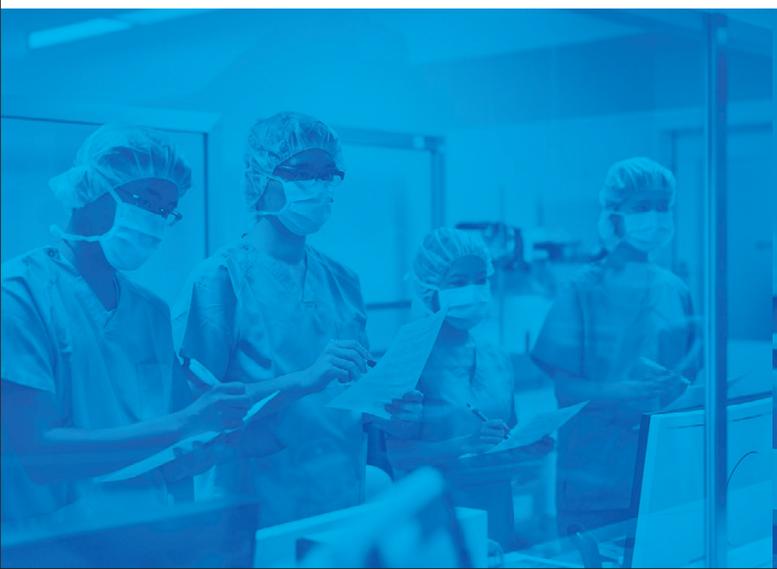
本学医学部は東北の地域医療を支える医師の育成を使命として設置されましたが、この医学部を基礎として大学院医学研究科を設置し、地域医療を支える「知のプロフェッショナル」の育成を担うことは、本学が果たすべき重要な役割と考えています。

地域医療の発展と貢献に意欲溢れる皆様と、共に研究できることを期待しています。

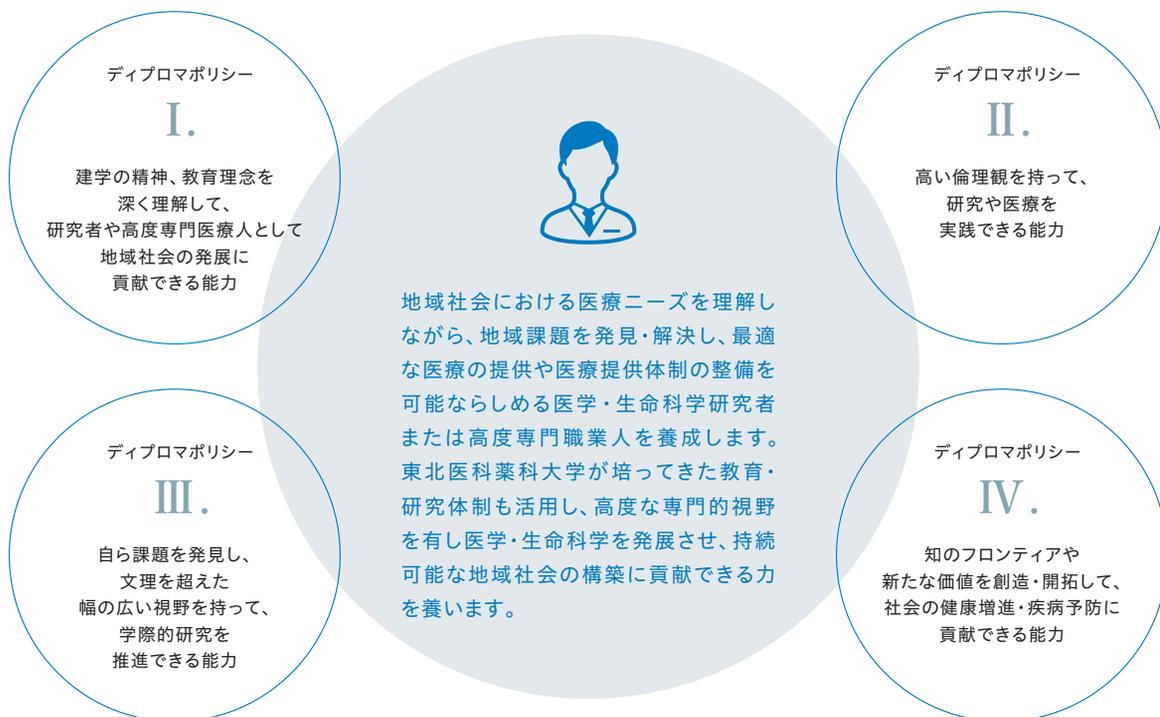


東北医科薬科大学
理事長・学長
医学博士

高柳元明



医学研究科が養成する人材像



カリキュラムポリシー

- 1 生命倫理・研究倫理や研究デザイン、統計解析、英語による情報の収集・発信など、研究の基盤となる知識や能力を修得する。
- 2 豊かな人間性と高い倫理観を養うとともに、地域社会との関わりを通じて地域の発展に寄与する使命感を醸成する。
- 3 高度・先進的な知識や技能を学び、研究の考え方をはじめ、生命倫理・研究倫理や理論的思考、専門的視野を身に付ける。
- 4 質の高い研究を他者と協力しながら自立的に実践し、論文作成および発表に必要とされる基本的な能力を修得する。
- 5 自立的に研究を遂行・展開し、新たな知見・技能を創造できる能力を修得する。
- 6 1～5の5つのカリキュラムポリシーに基づく教育を通じて、ディプロマポリシーで掲げる4つの能力を身に付けているかを、試験やレポート、グループ討論・発表、研究論文の完成度などによって総合的に評価する。

医学研究科 学修の流れ

修了要件:博士課程に4年以上在学し、30単位以上の修得が必要です。
また、必要な研究指導を受けた上で博士学位論文を提出し、その審査と最終試験への合格が必要です。

1年	2年	3年	4年
共通科目			
専門科目(特論科目)			
専門科目(演習科目)			
専門科目(特別研究科目)			

博士課程修了…博士(医学)取得

共通科目

必修5科目7単位と
選択必修1科目1単位以上を含み6科目8単位以上

【必修科目】 生命倫理・研究倫理概論、研究方法概論、医学統計学・医学統計演習、医学英語、地域医学総論
【選択必修科目】 地域医学各論、橋渡し研究・臨床試験各論

特論科目

主として専攻する領域の
1科目2単位(主科目)と
主として専攻する領域および他の領域の
1科目2単位(副科目)以上を含み
2科目4単位以上

【基礎医学領域】 細胞生物学特論、組織解剖学特論、生理学特論、神経科学特論、薬理学特論、病理学特論、医化学特論、微生物学特論、免疫学特論、放射線基礎医学特論
【臨床医学領域】 循環器内科学特論、呼吸器内科学特論、消化器内科学特論、糖尿病代謝内科学特論、腎臓内分泌内科学特論、血液学特論、臨床免疫学特論、脳神経内科学特論、腫瘍内科学特論、精神科学特論、小児科学特論、肝胆膵外科学特論、消化器外科学特論、呼吸器外科学特論、乳腺・内分泌外科学特論、心臓血管外科学特論、脳神経外科学特論、皮膚科学特論、耳鼻咽喉科学特論、産婦人科学特論、泌尿器科学特論、形成外科学特論、放射線医学特論、臨床検査医学特論、免疫アレルギー病態学特論
【社会地域医学領域】 地域医療管理学特論、疫学特論、法医学特論、地域医療学特論、整形外科特論、リハビリテーション学特論、感染症学特論、腫瘍疫学特論

演習科目

特論科目(主科目)と同一領域の
1科目2単位以上を含み1科目2単位以上

【基礎医学領域】 基礎医学演習
【臨床医学領域】 臨床医学演習
【社会地域医学領域】 社会地域医学演習

特別研究科目

必修4科目16単位

【必修科目】 特別研究I、特別研究II、特別研究III、特別研究IV

学長メッセージ

本学は、東日本大震災を契機に医師不足や医師の地域偏在が加速した東北地方の地域医療を支えることを使命として、平成28年4月に医学部を開設いたしました。この医学部の教育・研究体制を基礎として、地域医療の課題解決に向けて不断の努力で取り組むことができる医学・生命科学研究者または高度専門職業人の養成を目的とする医学研究科の設置を計画いたしました。具体的には、①限られた医療資源を活用できる地域完結型医療に貢献する人材、②超高齢社会に対応した高度・先進的医療技術の開発と臨床応用を支える人材、そして③地域の現状に即した質の高い医療提供体制の構築に貢献する人材を養成してまいります。また、本研究科では、仕事に従事しながら学修を望む方へ学修機会を提供するために、長期履修制度や昼夜開講制度を整備し、社会人学生を積極的に受け入れます。医学・医療の高度で知的な素養を身に付け、地域社会に貢献する強い意志を有する皆様の入学を待っています。



学長・医学博士
大野勲

東北医科薬科大学の特色を活かした3つの学び

基礎医学領域



想定される入学者



履修科目 Pickup

基礎医学演習 (2単位)

基礎医学領域の各研究室で現在進行中の研究テーマを理解し、研究室が得意とする研究手法を学びます。その研究分野における先行研究や最新研究の論文抄読を行い、その中で未解明の課題を見いだします。そして担当教員の助言のもと、研究計画の立案・発表に取り組みます。こうした実践的な演習を通じて、後の特別研究において自立的に研究を遂行する能力を養います。

研究分野

細胞生物学、組織解剖学、生理学、神経科学、薬理学、病理学、医化学、微生物学、免疫学、放射線基礎医学

臨床医学領域



想定される入学者



履修科目 Pickup

臨床医学演習 (2単位)

臨床医学領域において研究者および高度医療人に求められる研究能力を養います。具体的には、文献検索、管理の手法を学び、関連の領域の代表的な論文を選び、内容を理解します。未解決な課題、課題に対する解析手法を会得し、当該研究分野における研究計画を立案、遂行できる能力を取得します。

研究分野

循環器内科学、呼吸器内科学、消化器内科学、糖尿病代謝内科学、腎臓内分泌内科学、血液学、臨床免疫学、脳神経内科学、腫瘍内科学、精神科学、小児科学、肝胆膵外科学、消化器外科学、呼吸器外科学、乳腺・内分泌外科学、心血管外科学、脳神経外科学、皮膚科学、耳鼻咽喉科学、産婦人科学、泌尿器科学、形成外科学、放射線医学、臨床検査医学、免疫アレルギー病態学

社会地域医学領域



想定される入学者



履修科目 Pickup

社会地域医学演習 (2単位)

「地域医療管理学」「疫学」「法医学」「地域医療学」「整形外科学」「リハビリテーション学」「感染症学」「腫瘍疫学」の8分野から1つを選択し、文献検索、論文抄読を行い、研究の内容・意義について説明できるようになるとともに、当該研究分野における課題を抽出し、新たな研究立案を発表することで、研究遂行のための一連の能力を養います。

研究分野

地域医療管理学、疫学、法医学、地域医療学、整形外科学、リハビリテーション学、感染症学、腫瘍疫学

入学者 受け入れの方針

アドミッションポリシー

1

本学の建学の精神と教育理念を理解し、医学・医療の高度で知的な素養を身につけ、主体性を持って多様な人々と協働して社会に貢献する強い意志を有する者を対象とします。

2

医学が人間とその生命に深く関わる学問であり、広い視野と豊かな人間性・倫理観が求められることを強く自覚している者を対象とします。

3

自らが目指す研究領域あるいは医療領域で高度な知識・技能を学ぶための基礎学力と英語力を有し、大学院における研究および修練に積極的に取り組む強い意志を有する者を対象とします。

医学の発展に不可欠な 「疾患病態の解明」を

皆さんは「基礎医学」と聞くとどのようなイメージを持たれますか？「実験室の扉の向こうで、何やら難しそうなことを気難しそうな顔をしてやっている」というイメージではないでしょうか？実際の福室キャンパス7階の共同実験室を目にすれば、そのようなイメージとは全く異なる、明るく広々としたオープンラボスペースが広がっています。そこには基礎医学領域と臨床医学領域の実験台が隣り合って並び、機器室には最新の研究機器が備え付けられています。医学研究において、基礎医学と臨床医学を隔てる垣根は年々低くなっており、両者は一体化しつつあるとも言えます。医学における「役に立つ研究」は、私たち基礎医学領域の研究室が目指す「疾患病態の解明」なしには成し遂げられません。本領域では、各種疾患の病態解明に興味を持つ学生諸君が思い切り研究できる環境を提供します。医学部や薬学部、歯学部の卒業生はもちろん、理系学部修士号取得者で、医学研究を志向する学生諸君も大いに歓迎します。

地域医療に求められる 実践的な能力の修得へ

臨床医学領域は、臨床系の25研究分野で構成されます。1年次には3領域共通の共通科目で、倫理、統計、英語、医学研究の基本的事項などを学んだ後、主として専攻する臨床系特論を履修することで、質の高い特別研究を実施するための最新の知見や課題を学修します。1年次後期の臨床医学演習では臨床医学領域の幅広い知識と様々な研究手法について学びます。専門分野以外の講義と分野横断的な講義や実習に参加することによって、他の臨床分野に関する最新の知見に触れることもできます。所属分野では、指導教官とともに研究を立案し、遂行するとともに、その結果を国際的に発表する方法も学びます。本領域で学ぶことにより、臨床の場において課題を発見し解決する能力、新しい診断・治療法の開発に挑戦する能力が培われます。社会人大学院生として、臨床の場で働きながら学位を取得したい医師の入学も大歓迎です。

社会医学と地域医療の統合による 新しい医学

「社会医学」は、生理学、心理学、社会学など諸科学を総合して、人間の疾病や健康と職業、地域社会、経済条件、伝統などの社会要因との関係を研究し、社会と個人の健康や福祉の向上を目標とする医学です。「地域医療」は、地域住民の個々が抱える様々な健康上の不安や悩みを受け止め、広く住民の生活にも心を配り、安心して暮らすことができるよう、見守り、支える医療活動です。元々医師数をはじめ医療資源が乏しいと言われた東北地方において、2011年(平成23年)の東日本大震災は、その傾向に拍車をかけました。「社会地域医学領域」では、「社会医学」と「地域医療」を高度に統合し、医療・健康・福祉の発展を研究することで、これからの時代に求められる新しい医療の形や、人々のよりよい生活の構築に貢献できる人材を育成します。本領域の裾野は広大です。医療・健康・福祉に関わる研究を行いたいと考える様々な分野の皆さんを歓迎します。

令和6年度入学者募集情報については、「募集要項」にてご確認ください。

大学院入学者選抜につきましては、本学ホームページ(<https://www.tohoku-mpu.ac.jp/>)にて、随時最新情報を掲載いたします。

FAQ よくあるご質問

- Q. 医師免許を持っていませんが、入学は可能ですか？
- 可能です。本学で学びたい内容に応じた履修科目の選択等、ご相談も随時承っております。
- Q. 現在社会人として病院に勤務中ですが、入学は可能ですか？
- 可能です。本学では社会人でも履修しやすいよう、オンデマンド授業や昼夜開講制度、長期履修制度を備えております。また、学外からの図書館利用を可能とする学習環境も整備しています。履修スケジュールのご相談等、ぜひお気軽にお問い合わせください。
- Q. 専門医取得と大学院との両立は可能ですか？
- 可能です。もちろん、医師としての勤務とのバランスを取りながらの研究活動となりますので、履修スケジュールや方法等については、あらかじめご相談ください。
- Q. 入学者の選抜方法の「基礎学力試験」は、どのような試験ですか？
- 必修共通科目を学ぶための基礎的な学力を問う試験です。
- Q. 志望領域教員に相談をしたいのですが、どのようにすれば良いですか？
- 東北医科薬科大学医学部事務部へご連絡ください。(電話 022-290-8850)

ACCESS MAP

福室キャンパス 〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目15番1号



交通アクセス(仙台までの所要時間)

新幹線	空路
新函館北斗駅 — 約2時間40分 —>	札幌(千歳) — 約1時間10分 —>
新青森駅 — 約1時間50分 —>	成田 — 約55分 —>
秋田駅 — 約2時間20分 —>	名古屋 — 約1時間10分 —>
盛岡駅 — 約40分 —>	大阪(伊丹) — 約1時間10分 —>
福島駅 — 約20分 —>	大阪(関西) — 約1時間20分 —>
東京駅 — 約1時間40分 —>	福岡 — 約1時間40分 —>
	那覇 — 約2時間50分 —>

市バス JR仙台駅西口(アイリス青葉ビル前)50番→東北医科薬科大学病院入口から徒歩3分

宮交バス JR仙台駅西口(アイリス青葉ビル前)50番→陸前高砂駅から徒歩7分

JR仙石線 仙台駅→陸前高砂駅から徒歩7分

